

企画展
江戸の
生きもの
みつめる科学の眼
図鑑
2017.
6/2(金)〜7/9(日)

主催 徳川美術館・名古屋蓬左文庫
協力 名古屋市交通局

開館時間 午前10時〜午後5時(入館は午後4時半まで)
休館日 月曜日
観覧料 一般 1,200円
高大生 700円
小中生 500円
※20名様以上の団体は一般2,000円、その他1,000円割引
※土曜日は小中高生入館無料

A Keen Scientific Gaze
Edo-period Sketchbooks of Nature

葉脈一本に
いたるまで
真を伝えたい!
植物拓本「印葉図」
尾張・名古屋は江戸時代における博物学の中心地の一つで、
十九世紀には、水谷豊文が創始し伊藤圭介が引き継いだ
博物学研究グループ「菅百社」がその活動の核となりました。
菅百社では西洋博物学を積極的に採り入れ、
また植物の拓本「印葉図」を多用するという
特徴ある研究手法が推進されました。



顕微鏡
伊藤圭介所用
江戸〜明治時代 19世紀
名古屋市東山植物園蔵

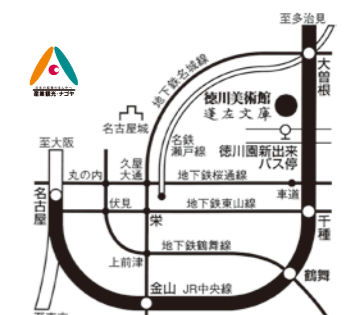
記念講演会
大名から庶民まで楽しんだ
江戸の園芸
6月11日(日) 13時30分〜15時00分
雑花園文庫庫主 小笠原左衛門尉亮軒氏
徳川美術館 講堂 ※入館者聴講自由

土曜講座
尾張の本草学と博物図譜
6月18日(日) 13時30分〜15時00分
学芸員 安藤香織
徳川美術館 講堂 ※有料
※都合により日曜日に開催します。

徳川園催事
雨を聴く
徳川園の和傘
6月10日(土)〜7月2日(日)



次回予告
特別展
「天下人の城―信長・秀吉・家康―」
7月15日(土)〜9月10日(日)



徳川美術館 蓬左文庫
THE TOKUGAWA ART MUSEUM HOSAZO LIBRARY

〒461-0023 名古屋市東区徳川町
徳川美術館 電話(052)935-6262
名古屋市蓬左文庫 電話(052)935-2173

基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
JR中央本線「大曽根駅」下車
南口より徒歩10分



「築地名苑真景・草木虫魚写生図巻」(部分) 江戸時代 19世紀 / 徳川美術館蔵



「本草図譜」
岩崎灌園筆
江戸時代 19世紀
名古屋市蓬左文庫蔵

美しき
博物図譜



「獸類写生」(部分) 山本溪山筆 / 江戸時代 19世紀 / 西尾市岩瀬文庫蔵

博 物学は、動植物など自然物を観察し、その種類や性質・産地などを分類して記録する学問です。日本では、東洋医学における薬学である「本草学」として古くから研究され、江戸時代には中国や西洋の新たな研究の影響を受けながら大きく発展しました。「図譜」はその研究成果の一つで、今でいうところの図鑑であり、対象が正確に、わかりやすく記録されています。ただ、写真のように対象をそのまま写し取るというわけではなく、科学の眼で取捨選択された情報によって構成されているのが特徴です。

知的好奇心と、探求への情熱に満ちた博物図譜の諸相をご覧いただくとともに、伊藤圭介らの活動を中核とする尾張地域の博物学についてご紹介いたします。

本草学から
博物学へ



「花くらべ」(部分)
楽堂筆
江戸時代 17世紀
雑花園文庫蔵



「植物標本」
菊池有英旧蔵 / 江戸～明治時代 19世紀
愛知県立旭丘高等学校蔵



「安喜多富貴印葉図」 伊藤圭介筆 / 明治15年(1882) / 名古屋市東山植物園蔵



「錦窠植物図説」
伊藤圭介筆・編
江戸～明治時代 19世紀
名古屋大学附属図書館蔵

尾張徳川家と
本草学

上:「群蟲真景図」(部分)
下:「群芳帖」(部分)
徳川慶勝(尾張徳川家14代)収集・編
江戸時代 19世紀
徳川林政史研究所蔵

